学校番号	４０１

平成 31 年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「改訂版　高校生の音楽１」　（音楽の友社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１学期はおもに発声法やリコーダーの演奏法、クラシックギターの取り扱いや基本的な奏法、読譜等、音楽の授業における基本を重点的に学習します。２学期は、１学期の学習内容をさらに深めながらアンサンブルの楽しさを味わってもらいます。３学期はグループ毎に自由課題の演奏を行います。アンサンブルを作っていく過程でクラスメートと協力をしたり、創意工夫をしたりすることも大切な目標です。

2　学習の到達目標

歌唱：正しい姿勢と呼吸法を身に付け、無理なく伸び伸びと歌えるようになる。
器楽：リコーダー、ギターの基礎知識・基礎技能を身に付け、アンサンブルを楽しさを学ぶ。
この２点を柱に、人との関わり方を学び、物事を深く積極的に考え、行動する力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	・観察 ・ワークシート	・演奏の聴き取り ・観察 ・ワークシート	・演奏の聴き取り ・観察 ・ワークシート	・観察 ・ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	イメージを持って歌い上げる	【歌唱】 「校歌」(斉唱) 「A whole new world」 (原語・2 重唱)	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:曲の構成を理解し、その効果を感受しながら、意図的に表現している。 c:正しい発声法が身についている。	・演奏の聴き取り ・観察
	リコーダー二重奏	【器楽】 エルガー「愛のあいさつ」(ソプラノリコーダー、アルトリコーダー二重奏)	○	○	○		a:アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音色や曲の構成による効果を感受しながら、意図的に表現している。 c:正しい運指、演奏法が身についている。	・演奏の聴き取り ・観察
	クラシックギターの基本奏法	【器楽】 自作プリント「音階」「きらきらぼし」、「大きな栗の木の下で」(2 重奏)	○		○		a:ギターの基本的な奏法に関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。 c:正しい構え方、運指、読譜力、奏法（アポヤンド、アルアイレ）が身についているか。	・演奏の聴き取り ・観察
2	ドイツリートに親しむ	【歌唱】 シューベルト「野ばら」 (原語・独唱) ウェルナー「野ばら」 (原語・3 重唱)	○	○	○		a:曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 b:詩の内容や背景を理解し、作曲者による表現の違いを味わっている。 c:表現したいことを伝えるために必要な正しい発声、ドイツ語の発音を身に付けている。	・演奏の聴き取り ・観察
	イタリアカンツォーネを味わう	【歌唱】 「O sole mio」 (原語・独唱)	○	○	○		a:曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 c:表現したいことを伝えるために必要な伸びやかな発声、イタリア語の発音を身に付けている。	・演奏の聴き取り ・観察
		【鑑賞】 「3大テノール世紀の競演」DVD の「O sole mio」	○			○	a:曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、学習に主体的に取り組もうとしている。 d:歌詞の内容や背景を理解し、演奏者による表現の違いを味わっている。	・レポート ・観察
	多種リコーダーのアンサンブルを楽しむ	【器楽】 ホルスト「木星」 (バスリコーダー、アルトリコーダー、ソプラノリコーダーによる 4 部合奏)	○	○	○		a:それぞれのリコーダーの音色等の違いに関心を持ち、それら生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、意図を持って表現している。 c:リコーダーの特徴を生かした技能を身に付け、創造的に表現している。	・演奏の聴き取り ・観察

2		【鑑賞】 ケンブリッジバスカーズによるリコーダーアンサンブル	○			○	a:様々なリコーダーの特徴やリコーダーアンサンブルに関心を持ち、鑑賞学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音色や奏法の違い、構成などを知覚、感受しながら、アンサンブルのよさや美しさを創造的に味わって聴いている。	・レポート ・観察
	ギター三重奏	【器楽】 「故郷」(クラシックギター3 重奏)	○	○	○		a:ギターアンサンブルに関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。 b:旋律と副旋律の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら表現を工夫している c:美しい音色で、創造的に表現している。	・演奏の聴き取り ・観察
	三線入門	【歌唱】【器楽】 自作プリント(三線の調弦、工工四の読譜、音階、きらきら星、茶摘み)、「海の声」	○	○	○		a:三線と三線の文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音階等、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 c:正しい構え方、運指、工工四の読譜力、奏法が身に付いている。	・演奏の聞き取り・ ・観察
3	ギター弾き語りに挑戦	【歌唱】【器楽】 「カントリーロード」(ギター弾き語り)	○	○	○		a:ギターコードのストローク弾きに関心を持ち、弾き語りで演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律と和音の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、表現を工夫している。 c:弾き語りに必要なギターの基礎的な演奏技能を身に付け、創造的に表現している。	・演奏の聴き取り ・観察
	む 班別自由演奏発表に向け、取り組	【歌唱】【器楽】【創作】【鑑賞】 自由課題 (曲、楽器編成、アレンジ等、各グループで決める)	○	○	○	○	a:課題のアレンジや練習に主体的に取り組もうとしている。またグループ内に目配りし、コミュニケーションを取りながら取り組んでいる。 b:音楽を形づくっている要素を知覚、感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:アレンジに必要な創作技能やアンサンブル練習に必要な基本技能を身に付け、創造的に表している。 d:音楽を形づくっている要素を知覚、感受し、演奏者の表現を味わっている。	・演奏の聴き取り ・観察 ・レポート

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。